



2021年10月15日

株式会社 G-Bio イニシアティブ  
代表取締役会長 高橋 俊春 様  
代表取締役社長 柳沼 紀之 様

Friends of the Earth Mozambique/Justiça Ambiental!  
国際環境 NGO FoE Japan  
日本国際ボランティアセンター(JVC)

### G-bio 石巻須江バイオマス火力発電事業の中止を求める要請書と質問書

私たちは、貴社が宮城県石巻市須江地区で計画されている G-bio 石巻須江バイオマス火力発電所（出力 102,750kW）が、日本にもモザンビークにも、大きな環境社会影響をもたらすことを懸念しています。

貴社は燃料の原料となるインド原産のポンガミアを栽培するため、モザンビーク中西部で 40 万ヘクタールもの土地を使うと説明されています。貴社は、「荒廃地」を使うとしていますが、具体的にどの土地なのかは説明していません。一見「荒廃地」にみえたとしても、実はそこに適した植物が生育し、独自の生態系が育まれていたり、もしくは住民が季節的に使っていたりする土地であることはしばしばあります。百歩譲って何も生育していない土地であったとしても、また住民が使っていない土地であったとしても、40 万ヘクタールもの広大な土地に、単一の外来種を植えることは、地域の固有の生態系に大きな負の影響をもたらします。

日本の電気をつくるために、このように広大な土地を占有することは、形をかえた植民地主義ともいえるべきものです。

また、栽培、加工、長距離輸送、燃焼などライフサイクルで見れば、この事業は膨大な量の温室効果ガスを排出します。

発電所の建設予定地周辺には小学校、保育所、住宅地があり、振動、悪臭、大気汚染など生活環境の悪化、燃料を運ぶ大型トレーラーの通行増加による危険性などがあり、須江地区の住民が強く反対しています。

以上のことから、私たちはこの事業の中止を強く要請いたします。

あわせて、以下について明らかにしていただけますようお願いいたします。

1. モザンビークでの栽培地の具体的な場所はどこか
2. 土地はすでに取得しているのか
3. 栽培計画およびスケジュール
4. 栽培事業の許認可はとっているのか

以 上

連絡先：国際環境 NGO FoE Japan  
〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-21-9  
TEL: 03-6909-5983 / FAX: 03-6909-5986  
E-mail: [info@foejapan.org](mailto:info@foejapan.org)